

奄美群島振興開発基本方針について

2.0.0.9.5.2.0

奄美群島振興開発基本方針 告示 [平成16年5月28日]

奄美群島振興開発基本方針 (案)

I 序

昭和28年12月に我が国が復帰した奄美群島については、産業の振興、社会資本の整備等のために諸施策を果して来た。...

I 序

奄美群島は、本土から遠く隔絶した外海に位置することや、台風の常襲、ハブや特殊病害虫の生息等、厳しい地理的、歴史的、自然的条件等の特長を抱えている。...

今後、奄美群島における地域振興を進めるに当たっては、格差是正の進展のみならず、優位性を伸ばすという強点を明確にして、必要な基盤施設を整備を進めるとともに、地域経済社会を自立した経済社会構造に転換する必要がある。...

今後の奄美群島の振興開発においては、引き続き自立的發展に向けて、地域主体の取組の定着を図りつつ、所得水準をはじめとする経済面・生活面で存在する本土との諸格差等々の課題的進歩、人口減少や高齢化の進展等、今日の我が国は、経済のグローバル化、情報通信技術の飛躍にも適切に対応していかねばならない。...

II 奄美群島の振興開発の意義及び方向

1 奄美群島の役割

奄美群島は、厳しい地理的、自然的条件等の特長による様々な不利性を抱えているが、他方で、他の地域にない風土的魅力や資源に恵まれており、我が国にとつて重要な役割を担っている。

II 奄美群島の振興開発の意義及び方向

1 奄美群島の役割

奄美群島は、厳しい地理的、自然的、歴史的条件等の特長を抱えているが、他方で、他の地域にない風土的魅力や資源に恵まれており、我が国にとつて重要な役割を担っている。

(1) 豊かな自然環境

奄美群島は、亜熱帯地域として世界でも雨の多い特殊な気象条件下にあり、また、太古の時代に大陸や日本列島から隔離されたことから、固有種や希少種など、貴重な野生動植物

(1) 豊かな自然環境

奄美群島は、亜熱帯地域として世界でも雨の多い特殊な気象条件下にあり、また、太古の時代に大陸や日本列島から隔離されたことから、固有種や希少種など、貴重な野生動植物

が生息しているほか、美しいさんご礁の海や亜熱帯性の森など多様な自然が残っており、我々が定公園にも指定されている。このように、奄美群島は学術的にも価値の高い地域であり、我が国の多様な自然環境の形成・維持に大きな役割を果たしている。

(2) **多様で個性的な伝統文化等**
奄美群島では、古くから中国・琉球等の影響を受けながら、個性豊かな独自の文化が形成されてきており、島唄や八月踊りなど、固有の伝統行事や民俗文化財等が受け継がれている。近年、これらの伝統文化は、全国的に広く知られるようになっており、我が国の文化・地域社会の多様性の維持・増進を通じて、国民生活の充実に貢献している。

(3) **長寿・癒しの島**
奄美群島は、温暖な気候、生活に密着した伝統・文化、豊かで個性豊かな食文化など、健康・長寿・癒しに関連の深い多様な資源を有しており、平成15年9月現在の人口10万人当たりの100歳以上の者は約66人と、沖縄県(約42人・都道府県別で全国1位)よりも高い水準にある。

奄美群島の長寿・癒しの島としての特性は、国民に対してゆとりと潤いのある生活の提供を通じて、豊かな国民生活の実現に役立っている。

(4) **海洋資源の利用等**
奄美群島は、南北約200kmの広大な海域に点在して排他的経済水域を保全し、また、その海岸線の延長は870kmに達し、美しいさんご礁が連なると、海洋や自然とのおふれあいあいを求める国民の志向ともあいまって、観光資源としての役割が期待されている。さらに、沖合の黒潮の影響で、回遊性魚類も数多く見られるほか、周辺海域には天然礁が多く存在するため、好漁場が形成されており、良質な食料の安定的な供給に貢献している。

2 振興開発の意義

奄美群島においては、我が国への復帰以降、産業の振興、社会資本の整備等のための諸施策が講じられ、各般にわたる相応の成果をあげてきた。しかしながら、本土から隔絶した海外海離島という地理的条件、台風常襲地帯などの厳しい自然条件の下にあって、本土や沖縄との間に所得水準を始めとする経済面・生活面での格差が依然として残されている。また、奄美群島の自立的發展に向けて引き続き取り組んでいく必要がある。

また、奄美群島の野生動物植物は、他の地域では見られない貴重なものであり、我が国の多様な自然環境の形成・維持に貢献していることに加え、その豊かな自然環境を保全していくことは、我が国にとって意義のある取組である。さらに、奄美群島の個性的な伝統文化や癒し・長寿と島としての特性は、我が国の文化・地域社会の多様性の維持・増進や、国民に対するゆとりと潤いのある生活の提供などを通じて、国民生活の充実に役立っている。このように奄美群島を維持していくことは、社会全般にとっても有益である。

加えて、奄美群島の存在そのものが、排他的経済水域等の保全や船舶の航行や操業漁船の安全の確保など多面的な役割を果たしている。今後とも、奄美群島の地域社会を、人々が安定的な生活で暮らす場として維持していくことには大きな意義がある。また、奄美群島の重要な役割を維持しながら、奄美群島が持つ、このように住民の生活の安定及び福祉の向上を図り、ひいてはその自立的発展に結びつけたっていくことは、我が国全体の経済の発展と国民の福祉の向上に有益である。

3 振興開発の方向

今後の奄美群島の振興開発に当たっては、引き続き社会基盤・生活基盤の整備を推進し、基

が生息しているほか、美しいさんご礁の海や亜熱帯性の森など多様な自然が残っており、我々が定公園にも指定されている。このように、奄美群島は学術的にも価値の高い地域であり、我が国の多様な自然環境の形成・維持に大きな役割を果たしている。

(2) **多様で個性的な伝統文化等**
奄美群島では、古くから中国・琉球等の影響を受けながら、個性豊かな独自の文化が形成されてきており、島唄や八月踊りなど、固有の伝統行事や民俗文化財等が受け継がれている。近年、これらの伝統文化は、全国的に広く知られるようになっており、我が国の文化・地域社会の多様性の維持・増進を通じて、国民生活の充実に貢献している。

(3) **長寿・癒しの島**
奄美群島は、温暖な気候、生活に密着した伝統・文化、豊かで個性豊かな食文化など、健康・長寿・癒しに関連の深い多様な資源を有している。平成20年9月現在の人口10万人当たりの100歳以上の者は約100人と、沖縄県(約61人・都道府県別で全国1位)よりも高い水準にある。また、平成15年から5年間の特殊出生率では、全国のペースト3を群島内の3町が占めるとともに、全市町村が全国平均はもとより鹿児島県平均値をも上回っている。

奄美群島の長寿・癒しの島としての特性は、国民に対してゆとりと潤いのある生活の提供を通じて、豊かな国民生活の実現に役立っている。

(4) **食料の供給**
奄美群島は、冬の温暖な気象条件を生かしたたばばいしよやさといも等の野菜の先発産地として全国に先駆けて消費地へ供給しているほか、たかんやマンゴ一等の亜熱帯果樹の供給地として、沖合の黒潮の影響で、回遊性魚類も数多く見られるほか、周辺海域には天然礁が多く存在するため、好漁場が形成されており、加えて、域内で国内生産の過半を占めるクロマグロの養殖が行われる等国民の食料の安定供給に貢献している。

(5) **領海・排他的経済水域の保全等**
奄美群島は、南北約200kmの広大な海域に点在して領海・広範囲の排他的経済水域を保全するという重要な役割を果たしている。また、多くのタンカー等が通過する日本の海上交通上重要な水域の一つとして、操業漁船の安全の確保・避難場所の提供等の極めて重要な役割を果たしている。

2 振興開発の意義

本土から隔絶した海外海離島という地理的条件、台風常襲地帯などの厳しい自然条件の下にあって、奄美群島が我が国への復帰以降、産業の振興、社会資本の整備等のための諸施策が講じられ、各般にわたる相応の成果をあげてきた。しかしながら、本土や沖縄との間に所得水準を始めとする経済面・生活面での格差が依然として残されている。

また、奄美群島の野生動物植物は、他の地域では見られない貴重なものであり、我が国の多様な自然環境の形成・維持に貢献していることに加え、その豊かな自然環境を保全していくことは、我が国にとって意義のある取組である。さらに、奄美群島の個性的な伝統文化や癒し・長寿と島としての特性は、我が国の文化・地域社会の多様性の維持・増進や、国民に対するゆとりと潤いのある生活の提供などを通じて、国民生活の充実に役立っている。このように奄美群島を維持していくことは、社会全般にとっても有益である。

加えて、奄美群島の存在そのものが、排他的経済水域等の保全、船舶の航行、操業漁船の安全の確保など多面的な役割を果たしている。

また、奄美群島の重要な役割を維持しながら、奄美群島が持つ、このように住民の生活の安定及び福祉の向上を図り、ひいてはその自立的発展に結びつけたっていくことは、我が国全体の経済の発展と国民の福祉の向上に有益である。

3 振興開発の方向

今後の奄美群島の振興開発に当たっては、同群島内の均衡ある発展という観点から引き続き

基礎条件の改善に努めるとともに、奄美群島の自立的发展に向けて、奄美群島の魅力と資源を活用した産業振興策、将来の奄美群島の育成等策の推進が必要である。

このため、本基本方針及び鹿児島県が定める振興開発計画に基づき、各般の事業は、次のような方向を基本として取り組むものとする。

- (1) **優位性への転換と奄美群島の魅力の増進**
奄美群島の地理的、自然的条件等は、これまで克服すべき、又は甘んじなければならぬ不利性を有している。また、世界に類を見ない貴重な野生動物植物に代表される自然的特性、島嶼などの多様な文化的特性、長寿・癒しの島等の社会的特性を有している。これらを引き継ぎ、このように視点を変えれば、他の地域にはない魅力と資源を奄美群島の優位性として捉え、優位性の発想に基づき、これらの特性をいかした産業の振興を図るなど、地域の活性化に結びつけていく。
- (2) **地域の発意と創意工夫の活用**
貴重な野生動物植物に象徴される独自の自然環境、個性豊かな伝統文化など、奄美群島の魅力と資源を発掘し、これを地域の活性化や自立的发展につなげていくためには、これらの資源について詳細な知識と地域振興に向けた強い意欲を併せ持つ住民の積極的な参画が必要であり、また、振興開発に当たっては、地元が受動的な立場から能動的な立場に変わること、創意工夫が必要である。行政機関を始め、観光協会・商工会などの関係団体が連携するとともに、個々の住民が、奄美群島の住民として誇りや、自主的かつ地域ぐるみで、今後は奄美群島の振興開発のあり方を考えるなど、住民の発意と創意工夫を引き出し、具体的な振興開発策につなげていく。
- (3) **島ごとの特性に応じた振興開発の推進**
奄美群島は、島ごとと異なる気象条件、地形や文化、産業等も異なり、このことから、地元が創意工夫をいかすにつれ、島ごとの地理的・自然的特性、人口及び産業の集積状況その他の特性に際しては、奄美群島内の市町村に対して案の提出を求め、振興開発計画の策定に際しては、複数の市町村がある場合に、その島の独自性をいかに活かすかという点に留意し、島内に複数の市町村がある場合に、その島の独自性をいかに活かすかという点に留意し、島ごとの地理的・自然的特性、人口及び産業の集積状況その他の特性に際しては、奄美群島内の市町村に対して案の提出を求め、振興開発計画の策定に際しては、複数の市町村がある場合に、その島の独自性をいかに活かすかという点に留意し、島内に複数の市町村がある場合に、その島の独自性をいかに活かすかという点に留意する。
- (4) **地元主体の自主的な地域づくりに関する**
今後、奄美群島の自立的发展を促進するためには、地元の発意・創意工夫をいかした振興開発が必要だが、あわせて、地元が主体性を発揮し、自助努力により、公共事業だけに依存しない、足腰の強い地域づくりに進んでいくことも重要である。
- (5) **ソフトラクトとハードを一体とした総合的な施策の推進**
奄美群島の特性をいかした地域主体の取組を支援し、地域が抱える諸課題を克服しつつ、新たな産業の育成や観光の発展による地域の自立的发展に向けた環境づくりを推進する。また、これまで整備されてきた社会基盤についても、ソフトラクト・ハード一体的に実施すること、一層の効果が期待される。

社会基盤・生活基盤の整備を推進し基礎条件の改善に努めるとともに、同群島の自立的发展に向けて、同群島の魅力を最大限に活用し、産業振興策、地域主体の取組の定着、環境の保全等の施策の推進が必要である。この際、沖縄との調和のとれた発展の観点から、沖縄振興に関する諸施策の状況を踏まえ、それとの調和も考慮することが重要である。

これを踏まえ、本基本方針及び鹿児島県が定める振興開発計画に基づき、各般の施策や事業は、次のような方向を基本として取り組むものとする。なお、同計画において、同計画の効果を評価するたための目標を設定することとし、併せて、良体的かつ総合的な評価を行う。

- (1) **島ごとの特性を活かした産業の発展による雇用機会の拡充**
奄美群島において、特に若年層の人口流出が顕著であること、この大きな課題の解消に向けて地域産業の振興を推進すること、人材育成を図ること、若年層を中心とした雇用機会の拡大を促進すること、一方、奄美群島では、島ごとと異なる気象条件や地形等に相違があるほか、地形的な特徴があることから、その特性を生かした振興開発を図る。これらに開かれた位置にある高付加価値型農業の発展を図ること、観光に関する連係を図ること、農業に関する情報発信の活性化を図ること、情報通信による連係を図ること、情報通信技術の活用による産業の振興や同技術を活用して、基盤の整備を進めるとともに、高付加価値製品を生産する産業の誘致を図る。
- (2) **ソフトラクトとハードを一体とした総合的な施策の推進**
奄美群島を一体的な取組を支援し、地域が抱える諸課題を克服しつつ、新たな産業の育成や観光の発展による地域の自立的发展に向けた環境づくりを推進する。また、ソフトラクトとハード施を一体的に実施する。特に、ソフト施策について、人材育成、地域居住等の社会基盤も含め、ハード施策の効用を最大化するため、産業の活性化・印象深く情報発信を図る。
- (3) **環境保全への積極的取組**
奄美群島に生息する固有種や希少な野生動物植物、美しいいさんご礁の海、亜熱帯性の森など多様な自然の価値は、我が国の多様な自然環境の形成・維持に大きな役割を果たしている。この自然を守るため、環境保全のための施策に積極的に取り組む。また、各種事業の実施に当たっては、この多様な豊かな自然との調和に十分に配慮する。
- (4) **地域主体の取組の定着**
奄美群島では、これまでで不利性としてとらえられてきた地理的、自然的条件等を他の地域にない優位性のある魅力と地元発意を促すとともに、その優位性の発想に基づき、地域振興を進め、地元の発意による地域主体の創意を自然かした地域主体の地域づくりに活かす。また、貴重な野生動物植物に象徴される、個性豊かな伝統文化や地域の活性化や自立的发展につなげていくために、これらに関する詳細な知識と地域振興に向けた強い意欲を併せもつ住民の積極的参画を得て行政機関や関係団体との連携が強化されつつある。今後は、これらの取組を生かす一層の自立的发展に向けて、地域主体の取組の定着を図る。

奄美群島の振興開発を図るための基本的事項
奄美群島の振興開発に関する各分野については、以下のとおりである。振興開発の各事業の実施に当たっては、鹿児島県、同群島内の市町村、民間事業者等の事業主体間の連携を強化し、振興開発の推進に必要な行政財政、金融、税制等の措置を有効かつ適切に活用しつづつ、ソフトップ・ハワード両面から効果的な振興開発の意義及び方向性を合致させるものではないことについて留意する必要がある。

1 地域の特性に即した農林水産業、商工業等の産業の振興開発に関する基本的な事項

(1) 地域資源を活用した産業の振興
奄美群島は、豊かな伝統文化、長寿・癒しの島としての特性など、他の地域にはない風土的魅力と資源を有している。地域の発展に向けた振興開発を推進するたため、これらを活用した産業の振興が重要である。このため、地元主体の産業振興の取組に対し、ソフトップ施策による需要開拓・地域資源発掘等の措置を、平成16年10月に独立行政法人奄美群島振興開発基金の活用など、必要な支援を行う。

また、大島紬や黒糖焼酎等の在来の産業についても、奄美群島内外の市場における競争力の強化、情報化への対応、流通体制の強化等に努める。
なお、奄美群島振興開発基金については、自律的かつ効率的な運営を行うとともに、産業の振興に必要な充実強化に努める。

(2) 農林水産業の振興

奄美群島は、温暖な気候帯に属しており、周辺に良好な漁場が多いため、魚介類の生産が盛んである。また、冬期も温暖な気候帯に属していること等が重要な要素である。このため、奄美群島の地産地消の振興を図ることを重要視し、産物の特長を生かした加工・流通・観光業との連携を図る。また、それぞれの産物の生産・流通・観光業との連携を図る。また、それぞれの産物の生産・流通・観光業との連携を図る。

さらに、島ごとの特色ある農林水産物、本土の端境期に出荷する作物等地域特性をいかした特産物の開発及び普及並びに生産、流通、消費の増進を図るとともに、奄美群島の豊かな自然環境等の観光資源をいかし、観光業と連携した取組を推進する。

奄美群島の振興開発を図るための基本的事項
奄美群島の振興開発に関する各分野については、以下のとおりである。振興開発の各事業の実施に当たっては、鹿児島県、同群島内の市町村、民間事業者等の事業主体間の連携を強化し、振興開発の推進に必要な行政財政、金融、税制等の措置を有効かつ適切に活用しつづつ、ソフトップ・ハワード両面から効果的な振興開発の意義及び方向性を合致させるものではないことについて留意する必要がある。

1 地域の特性に即した農林水産業、商工業等の産業の振興開発に関する基本的な事項

(1) 地域資源を活用した産業の振興
奄美群島は、豊かな伝統文化、長寿・癒しの島としての特性など、他の地域にはない風土的魅力と資源を有している。地域の発展に向けた振興開発を推進するたため、これらを活用した産業の振興が重要である。このため、地元主体の産業振興の取組に対し、ソフトップ施策による需要開拓・地域資源発掘等の措置を、平成16年10月に独立行政法人奄美群島振興開発基金の活用など、必要な支援を行う。

また、大島紬や黒糖焼酎等の在来の産業についても、奄美群島内外の市場における競争力の強化、情報化への対応、流通体制の強化等に努める。
なお、奄美群島振興開発基金については、自律的かつ効率的な運営を行うとともに、産業の振興に必要な充実強化に努める。

(2) 農林水産業の振興

奄美群島は、温暖な気候帯に属しており、周辺に良好な漁場が多いため、魚介類の生産が盛んである。また、冬期も温暖な気候帯に属していること等が重要な要素である。このため、奄美群島の地産地消の振興を図ることを重要視し、産物の特長を生かした加工・流通・観光業との連携を図る。また、それぞれの産物の生産・流通・観光業との連携を図る。また、それぞれの産物の生産・流通・観光業との連携を図る。

さらに、島ごとの特色ある農林水産物、本土の端境期に出荷する作物等地域特性をいかした特産物の開発及び普及並びに生産、流通、消費の増進を図るとともに、奄美群島の豊かな自然環境等の観光資源をいかし、観光業と連携した取組を推進する。

(3) 情報通信産業等の振興

情報通信産業等に関する基本的な事項
奄美群島は、地理的不利性を抱える離島において定着が可能な一方、人材育成等に関する人的交流等の面で有利な位置にある。このため、情報通信産業等の振興を推進するとともに、情報通信技術を活用した産業の振興を図る。

2 雇用機会の拡充、職業能力の開発その他の就業の促進に関する基本的な事項

奄美群島では、人口の減少が継続しており、特に若年層の人口流出が続いている。このため、若年層を中心とした雇用機会の拡充が必要であり、島ごとの特性や独自性を生かした産業の振興を図る一方で、地域における自主性や創意工夫を生かした良好な雇用機会の拡充や産業の振興に必要な実践的な職業能力の開発及び向上等就業の促進のための施策に取り組む。

3 観光の開発に関する基本的な事項

観光は、奄美群島の地理的・自然的特性等の魅力と資源を最も直接的に生かすことができ、産業であり、また、地理的に東アジアに開かれた位置にあることを利点にすることが可能である。このため、奄美群島の亜熱帯性・海洋性の豊かな自然、世界に類を見ない貴重な動植物、島嶼等に代表される奄美群島の多様な個性文化及び長寿・子宝・癒し等の魅力ある地域特性を観光資源として奄美群島内外に活用した体験・滞在型観光の振興を図るとともに、奄美群島の豊かな自然環境等をいかし、観光業と連携した取組を推進する。

型観光を推進するとともに、住民と行政による良質のサマービシスの提供、農林漁業との連携や奄美群島内外との交流活動の増加と観光地の開発に努める。

また、エコツーリズムは、今後有望な観光の形態であるが、その推進については、観光の開発と将来にわたる継承すべき貴重な自然環境の維持との両立に十分配慮して取り組むものとする。

3 道路、港湾、空港等の交通施設及び通信施設の整備その他の奄美群島以外の本邦の地域と奄美群島及び奄美群島内の交通通信の確保に関する基本的な事項

(1) 交通の確保
空港等の交通施設は、奄美群島の住民の生活圏の維持、人の往来・物流の活性化を通じた地域経済の活性化を図っていく上での重要な生活・産業の基盤である。このため、奄美群島の景観にも配慮しつつ、安全かつ安定的な輸送のために必要な交通基盤の整備を推進するとともに、奄美群島と本土との間及び奄美群島内の航空路線・離島航路の安定的な運航を確保するとともに、交通利便性を確保し、交流の活性化を図るため、一層利用しやすい航空運賃の軽減に努める。

(2) 通信の確保
高度情報通信ネットワークは、奄美群島の地理的制約を克服する上で極めて有効な手段であり、医療や教育のほか、特産品の販路拡大など、奄美群島の魅力を広く知らしめることが可能となる。また、奄美群島において情報通信ネットワークの整備を進め、住民生活の利便性の向上、産業の振興等を図るため、充実に努める。

4 生活環境の整備に関する基本的な事項
生活様式の変化や住民のニーズの高度化に対応した快適な生活環境の形成は、若年層やUI・Uターンの増加により奄美群島に居住しようとする人々の生産・定住意欲を促進し、奄美群島の活性化を図る上で重要である。整備については、生活用水の安定確保、公共下水道の整備、道路・都市公園の整備、生活基盤の整備等により、良好な居住環境の整備を推進し、やすらぎとつながるおおいの生活空間の形成を図るとともに、環境に優しい循環型社会を形成するため、廃棄物の排出抑制やリサイクル等の適正処理を促進する。

5 保健衛生の向上に関する基本的な事項
奄美群島は、長寿・癒しの島として社会的特性を有していることから、その要因について研究づくりに取り組むとともに、その豊かな地域資源をいかし、保健、医療及び福祉の連携による総合的な健康づくりに取り組むとともに、環境を推進し、やすらぎとつながるおおいの生活空間の形成を図るとともに、環境に優しい循環型社会を形成するため、廃棄物の排出抑制やリサイクル等の適正処理を促進する。

6 高齢者の福祉その他の福祉の増進に関する基本的な事項
奄美群島では、高齢化が進み、医療や介護の需要が高まってきていることに対応し、地域の実情や高齢者のニーズに合った高齢者福祉の充実や、高齢者が地域社会の一員として安心して自立した生活を送ることができ、長寿社会づくりに取り組むとともに、奄美群島の特性を生かした子育ての環境整備や、障害者が社会活動へ積極的に参加するために必要な支援策等、地域ぐるみの福祉環境の整備を促進する。

観光資源として奄美群島内外に強くアピールし、その魅力を最大限に活用した体験・滞在型観光を推進するとともに、住民と行政による良質のサマービシスの提供、農林漁業との連携、沖縄等近隣地域等との連携や奄美群島内外との交流活動の増加と観光地の開発に努める。

また、エコツーリズムは、今後有望な観光の形態であるが、その推進については、観光の開発と将来にわたる継承すべき貴重な自然環境や奄美らしい景観の維持との両立に十分配慮して取り組む。また、国内外からのポーターシップの誘致を促進するため、現地における送迎や既存施設の活用など受け入れ体制を確保するとともに、これらポーターシップに関する情報発信に努める。

4 道路、港湾、空港等の交通施設及び通信施設の整備その他の奄美群島以外の本邦の地域と奄美群島及び奄美群島内の交通通信の確保に関する基本的な事項

(1) 交通の確保
空港等の交通施設は、奄美群島の住民の生活圏の維持、人の往来・物流の活性化を通じた地域経済の活性化を図っていく上での重要な生活・産業の基盤である。このため、奄美群島の景観にも配慮しつつ、安全かつ安定的な輸送のために必要な交通基盤の整備を推進するとともに、奄美群島と本土との間及び奄美群島内の航空路線・離島航路の安定的な運航を確保するとともに、交通利便性を確保し、交流の活性化を図るため、一層利用しやすい航空運賃の軽減に努める。

地方公共団体と共に奄美群島の航空運賃の軽減に取組み、離島路線の航空運賃の軽減による離島における住民の生活利便性の向上、観光の振興等に関する実証を行う。

(2) 情報通信の確保
高度情報通信ネットワークは、奄美群島の地理的制約を克服する上で極めて有効な手段であり、医療や教育のほか、特産品の販路拡大など、奄美群島の魅力を広く情報発信することが可能となる。また、奄美群島において情報通信ネットワークの整備を進め、住民生活の利便性の向上、産業の振興等を図るため、充実に努める。

5 生活環境の整備に関する基本的な事項
生活様式の変化や住民のニーズの高度化に対応した快適な生活環境の形成は、若年層やUIターンの増加により奄美群島に居住しようとする人々の生産・定住意欲を促進し、奄美群島の活性化を図る上で重要である。整備については、生活用水の安定確保、公共下水道の整備、道路・都市公園の整備、生活基盤の整備等により、良好な居住環境の整備を推進し、やすらぎとつながるおおいの生活空間の形成を図るとともに、環境に優しい循環型社会を形成するため、廃棄物の排出抑制やリサイクル等の適正処理を促進する。

6 保健衛生の向上に関する基本的な事項
奄美群島は、長寿・癒しの島として社会的特性を有していることから、その要因について研究づくりに取り組むとともに、その豊かな地域資源をいかし、保健、医療及び福祉の連携による総合的な健康づくりに取り組むとともに、環境を推進し、やすらぎとつながるおおいの生活空間の形成を図るとともに、環境に優しい循環型社会を形成するため、廃棄物の排出抑制やリサイクル等の適正処理を促進する。

7 高齢者の福祉その他の福祉の増進に関する基本的な事項
奄美群島では、高齢化が進み、医療や介護の需要が高まってきていることに対応し、地域の実情や高齢者のニーズに合った高齢者福祉の充実や、高齢者が地域社会の一員として安心して自立した生活を送ることができ、長寿社会づくりに取り組むとともに、奄美群島の特性を生かした子育ての環境整備や、障害者が社会活動へ積極的に参加するために必要な支援策等、地域ぐるみの福祉環境の整備を促進する。

7 医療の確保等に関する基本的な事項
奄美群島には、依然として無医地区が存在するなどの医療水準が十分でなく、本土から隔絶した外海に位置するという特殊事情から、必要な医師の確保や診療所等の施設の充実、島外への救急患者の輸送の対応など、医療体制の充実が重要な課題である。
このため、中核的な病院による支援・協力体制の構築、遠隔医療支援システム等の活用、医師・看護師の確保等により、必要な医療水準の確保を図る。

8 防災及び国土保全に係る施設の整備に関する基本的な事項
奄美群島は、台風等の常襲、梅雨時期の集中豪雨に加え、近年、地震活動が活発であり、自然災害の発生しやすい状況下にある。
このため、防災及び国土保全施設の整備や自主防災組織の育成など防災対策等の推進に努める。

9 自然環境の保全及び公害の防止に関する基本的な事項
(1) 自然環境の保全
奄美群島は、亜熱帯性・海洋性の温暖な気候に恵まれ、優れた風景観、貴重な野生動植物や美しい自然環境を有しており、世界的にも高く評価されている。国立公園の指定を受けており、世界自然遺産及び生物多様性保護地域に指定されている。また、各種事業の実施に当たっては、奄美群島の生態系や天然の景観を損なわないよう、人と自然との調和等に努める。

(2) 公害の防止
公害の発生を未然に防止し、良好な生活環境を維持し、奄美群島独特の豊かな自然環境を保全するため、大気及び水質の保全、騒音の防止に努めるとともに、廃棄物等の排出抑制や適正処理の推進、環境への負荷の少ない農業の推進等に努める。

10 教育及び文化の振興に関する基本的な事項
(1) 教育の振興
奄美群島の自立的発展を促進するためには、学校教育や社会教育の充実・向上を図るとともに、生涯学習の場を増やすことにより、奄美群島の将来を担う人材を育成していくことが必要である。
このため、奄美群島特有の魅力ある地域資源をいかした体験学習や本土との子供達の交換留学等を取り入れ、地域の特性に応じた教育を進めるとともに、公立学校施設の整備・充実を図るなど、必要な教育環境の整備を推進し、創造性豊かな人材の育成を図る。
あわせて、地域に開かれた学校づくりを進め、多様化・高度化する地域住民の学習ニーズに対応した生涯学習社会の形成や社会教育活動の促進に努める。

(2) 文化の振興
奄美群島の固有の伝統行事や民俗文化財等を後世に受け継いでいくためには、地域住民の間でその保存・伝承に努めるとともに、こうした固有の文化に対する国民の理解を深めることが必要である。
このため、本土の人々も含めて、これらの伝統文化にふれあう機会を積極的に設けるとともに、学校教育や生涯学習の場において、伝統文化の保存、伝承の促進に努める。

11 国内及び国外の地域との交流の促進に関する基本的な事項
奄美群島の魅力をいかし、奄美群島の自然、文化、歴史等の研究等から、島内外の人々や居住者を拡大することは、経済・文化面での交流の活性化を促し、地域経済の発展や人材の育成が期待されることから、奄美群島の自立的発展を促進する上で非常に重要である。

8 医療の確保等に関する基本的な事項
奄美群島には、依然として無医地区が存在するなどの医療水準が十分でなく、本土から隔絶した外海に位置するという特殊事情から、必要な医師の確保や診療所等の施設の充実、島外への救急患者の輸送の対応など、医療体制の充実が重要な課題である。
このため、中核的な病院による支援・協力体制の構築、遠隔医療支援システム等の活用、医師・看護師の確保等により、必要な医療水準の確保を図る。

9 防災及び国土保全に係る施設の整備に関する基本的な事項
奄美群島は、台風等の常襲、梅雨時期の集中豪雨に加え、近年、地震活動が活発であり、自然災害の発生しやすい状況下にある。
このため、防災及び国土保全施設の整備や自主防災組織の育成など防災対策等の推進に努める。

10 自然環境の保全及び公害の防止に関する基本的な事項
(1) 自然環境の保全
奄美群島は、亜熱帯性・海洋性の温暖な気候に恵まれ、優れた風景観、貴重な野生動植物や美しい自然環境を有しており、世界的にも高く評価されている。国立公園の指定を受けており、世界自然遺産及び生物多様性保護地域に指定されている。また、各種事業の実施に当たっては、奄美群島の生態系や天然の景観を損なわないよう、人と自然との調和等に努める。

(2) 公害の防止
公害の発生を未然に防止し、良好な生活環境を維持し、奄美群島独特の豊かな自然環境を保全するため、環境行政との十分な連携を図り大気及び水質の保全、騒音の防止に努めるとともに、廃棄物等の排出抑制や適正処理の推進、環境への負荷の少ない農業の推進等に努める。

11 教育及び文化の振興に関する基本的な事項
(1) 教育の振興
奄美群島の自立的発展を促進するためには、学校教育や社会教育の充実・向上を図るとともに、生涯学習の場を増やすことにより、奄美群島の将来を担う人材を育成していくことが必要である。
このため、奄美群島特有の魅力ある地域資源をいかした体験学習や都市部の児童生徒が自ら参加できる山村留学等を取り入れ、地域の特性に応じた教育を進めるとともに、公立学校施設の整備・充実を図るなど、必要な教育環境の整備を推進し、創造性豊かな人材の育成を図る。
あわせて、地域に開かれた学校づくりを進め、多様化・高度化する地域住民の学習ニーズに対応した生涯学習社会の形成や社会教育活動の促進に努める。

(2) 文化の振興
奄美群島の固有の伝統行事や民俗文化財等を後世に受け継いでいくためには、地域住民の間でその保存・伝承に努めるとともに、こうした固有の文化に対する国民の理解を深めることが必要である。
このため、本土の人々も含めて、これらの伝統文化にふれあう機会を積極的に設けるとともに、学校教育や生涯学習の場において、伝統文化の保存、伝承の促進に努める。

12 国内及び国外の地域との交流の促進に関する基本的な事項
奄美群島の魅力をいかし、奄美群島の自然、文化、歴史等の研究等から、島内外の人々や居住者を拡大することは、経済・文化面での交流の活性化を促し、地域経済の発展や人材の育成が期待されることから、奄美群島の自立的発展を促進する上で非常に重要である。

このため、奄美群島を博物館と見立てて、産業、観光、文化等を総合的に振興する構想を定め、奄美群島の魅力をPRするのと同時に、観光客との交流を推進する。また、これら国内外の地域と、奄美群島の交流を推進する。また、これら国内外の地域資源の発掘を図るとともに、双方の地域の発展を促進する。加えて、都市部の子供達が奄美群島の豊かな自然環境や個性豊かな伝統文化を有する地域の役割が広く認められる機会となることから、修学旅行や体験学習の場としていくことも重要である。今後も、観光拠点を結んだネットワークの形成、固有の伝統芸能を通じた文化交流、気象的条件が類似している農林水産業の技術交流、情報関連産業など諸分野での沖縄との交流を推進する。

12 奄美群島の振興開発に寄与する人材の育成に関する基本的な事項
引き継いだ奄美群島主体の振興開発を推進するのと同時に、奄美群島の独特の豊かな自然環境や多様な主体による連携・協力が不可欠である。このため、地域おこしに意欲を持ち、本土の人々や観光客の視点を持って奄美群島の振興開発に当てることのできる人材の育成を図る。また、住民主体の活性化に向けた気運を醸成するたため、歴史、文化等について研修の実施による観光客に対する産業の担い手の育成を図る。また、各種の技術習得のための研修の実施による観光客に対する産業の担い手の育成を図る。また、奄美群島の自然、歴史、文化等について研修の実施による観光客に対する産業の担い手の育成を図る。また、各種の技術習得のための研修の実施による観光客に対する産業の担い手の育成を図る。

このため、奄美群島の特徴、魅力や役割を積極的かつ印象深く国内外に発信することが必要である。これまで、奄美群島を一つの博物館と見立てて、産業、観光、文化等を総合的に振興してきたところであり、これを活用して観光客との交流を推進すること、また、同群島外の地域の子供達の修学旅行や体験学習の場として同群島をPRしていく。

加えて、今後も、観光拠点を結んだネットワークの形成、固有の伝統芸能を通じた文化交流、気象的条件が類似している農林水産業の技術交流、情報関連産業など諸分野での沖縄との交流を推進する。

13 奄美群島の振興開発に寄与する人材の育成に関する基本的な事項
引き継いだ奄美群島主体の振興開発を推進するのと同時に、同群島の独特の豊かな自然環境や多様な主体による連携・協力が不可欠である。このため、地域おこしに意欲を持ち、本土の人々や観光客の視点を持って奄美群島の振興開発に当てることのできる人材の育成を図る。また、エコツーリズムなどで奄美群島の自然、歴史、文化等について観光客に対応し得るガイド能力を有する人材の育成や、職業能力の開発や各種の技術習得のための研修の実施による産業の担い手の育成等に取り組む。

14 奄美群島の振興開発に係る独立行政法人奄美群島振興開発基金、事業者、住民、特定非営利活動法人その他の関係者間における連携及び協力の確保に関する基本的な事項
近年、事業者、住民、NPO等が、公共サービスなどの提供、社会貢献など、行政では対応困難な地域密着型の活動に取り組む状況が見られることから、奄美群島の第一層の発展に向け、地元が発意による地域の個性と地元の創意を生かした地域主体の地域づくりをさらに広めていくことが重要である。これらのほか、地域づくり支援やNPO支援等のきめ細やかな対応等が期待されるため、独立行政法人奄美群島振興開発基金等様々な関係者間の連携と協力により「新たな公」を育むシステマの構築に取り組む。